



令和5年4月26日

各位

会社名 三重交通グループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 原 恭
(コード番号：3232 東証プライム、名証プレミア)
問合せ先 執行役員企画室部長 長井 康明
(TEL 059-213-0357)

通期連結業績予想の修正及び個別決算における特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、令和4年5月11日に公表した令和5年3月期（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、令和5年3月期の個別決算において、関係会社株式評価損を特別損失として計上する見込みとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正について

令和5年3月期通期連結業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回公表数値 (A) (令和4年5月11日発表)	92,000	4,800	4,600	3,000	30.12
今回修正予想 (B)	93,100	6,370	6,910	3,760	37.68
増減額 (B-A)	1,100	1,570	2,310	760	
増減率 (%)	1.2	32.7	50.2	25.3	
(ご参考) 前期実績 (令和4年3月期)	84,351	2,996	4,180	2,210	22.19

修正の理由

営業収益につきましては、おおそ想定通りとなる見込みです。

営業利益につきましては、費用の抑制に努めたこと等により、前回公表数値より15億70百万円増益の63億70百万円、経常利益は23億10百万円増益の69億10百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は7億60百万円増益の37億60百万円となる見込みであります。

2. 個別業績における特別損失の計上について

令和5年3月期の個別決算において当社が保有する連結子会社の株式について、実質価額が著しく下落したため、関係会社株式評価損7億70百万円を特別損失として計上する見込みとなりました。なお、当該関係会社株式評価損は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によってこれらの予想と異なる可能性があります。

以 上